



ママチャリ日本グランプリ
2026ルールブック
日本グランプリ編



参加される皆様へ

さて、これからが本番です！

このルールブックには、ルール解説、危険箇所の説明、コース図、パドック図、施設図、タイムテーブル、発信機取り付け方法など、レース参加の必要事項全てが記載（一部後日掲載）されています。参加ライダーとチーム関係者は事前にこの「ルールブック」と「Q&A」を熟読いただき、安全に参加できるようご確認下さい。

ママチャリレースといえど「スポーツ競技」です。

ある一定のルールを定め、それを各自が守る事によりスポーツ競技として成立するともに、公平で安全な環境はみなさまのマナーとモラルに支えられています。同時に参加者のみなさまには「サーキットのいろは」を多少学んでいただくことにより「サーキットの楽しさ」を発見してもらい富士スピードウェイがみなさまのホームコースになることを願っています。

ここからがレーススタートです！

じっくりルールブックをお読みください！



参加資格

- 1) 補助輪を使用せず安全に運転できる方。
- 2) 大会の趣旨を理解できる方。
- 3) 年齢、性別、制限無し。但し未成年者のみでの参加は不可。未成年者は保護者の同意および、選手に最低一名の保護者同伴必須。
- 4) 各チームにおける参加ライダーは3名以上(ラブラブクラスは2名、鉄人クラスは1名)総数10名以下(お子様が走行する際、この人数に含まれる)で構成してください。但しピットクルーや応援団の人数に制限はございません。
- 5) 参加選手は8時30分までには現地入りしてください。

レース形式

- 1) グリッドスタートによるチーム対抗6時間耐久レース
- 2) スターティンググリッドはヤル気順に決定
- 3) 6時間経過とともにチェックがふられてレースが終了する(項目「計測と計測装置について」を参照のこと)

4種のクラス

- **ママチャリクラス** = 8段変速以下のママチャリで参戦するクラス。
- **ママチャリミックススペアクラス** = 男女カップルがお互いの帰りを信じて待つ、2名1組のクラス。
- **ママチャリアイアンマンクラス** = 1人で6時間戦い抜く、鉄人のためのクラス。
- **アシストママチャリクラス** = 電動自転車を使用した最新鋭のクラス。
- **ママチャリファミリークラス** = ゆったりマイペースで6時間完走を目指すクラス。お子様と一緒に伴走を楽しめるクラスです。

持ち物

- 1) 自転車と装備一式
- 2) 「ルールブック」
- 3) 自転車修理用に「布製ガムテープ」
- 4) 簡単な工具
- 5) 紋創膏(ばんそうこう)などの応急処置具
- 6) 事故に備えて健康保険証
- 7) 防寒着(大変冷えますのでスキー場並みの製品を推奨)

注意事項

- 1) 富士スピードウェイ入場の際に入場料金1,200円(中学生以下は無料)が必要となります。
- 2) 入場整理券、参加受理証、車両通行証などは発行いたしません。
- 3) 事故に際し保険の適用はございません。障害保険は各自でご加入ください。
- 4) 雨天決行となります。但し危険な天候、コース内の重大な積雪や凍結などにおいては、主催者判断にて大会を中止する場合があります。状況次第では当日に中止の決定が下される場合もございます。その際は、HPと「イベント参加者専用お知らせ掲示板」にて通達いたしますので、必ずご確認下さい。確認ができない場合は**0550-78-2255**まで電話にてご確認をお願いいたします。



キャンセルと参加申込に伴う注意事項

- 1) 参加申込み後のキャンセルについては、参加費の返金はいたしかねます。参加に当たり十分ご検討の上お申し込みください。
- 2) 大会中止（注意事項の項目4）と事務局が判断した際は 参加費より2,000円の返金手数料を差し引いた金額を返金いたします。

レースに参加するまでの手順

- 1) WEBから参加申込を行い、参加費をお支払い。
- 2) WEBエントリーリストへ申込内容が掲載されます。※掲載されるまで数日かかります
- 3) WEBエントリーリストに掲載されたゼッケン番号を自作し自転車のカゴに張り付けましょう。
- 4) 富士スピードウェイに向けて家を出発！
- 5) 富士スピードウェイの東ゲートより入場。※入場料金が必要です
- 6) チーム代表者は時間内に1番ピットにて「**参加確認**」を行い計測機と大会プログラムなど一式を受け取り、車両検査（車検）を受けましょう。
- 7) 車両検査が終了した車両は、カッコ良く**ピットロードに並べましょう。**
- 8) 朝、ラジオ体操の放送が流れるので場内に居る全員で体操を行います。
- 9) 「グリッド整列開始」の放送が流れたらライダーはグリッドに移動します。
- 10) ゲート閉鎖後はグリッドに入れません。グリッドに配置できないチームはピットスタートとなります。
- 11) 場内放送と映像により注意事項を説明します。
- 12) スタートライン付近よりスタート「10分前」、「5分前」、「3分前」のボードが掲示されるので心の準備をしましょう。
- 13) 「大会実行委員長」による開会宣言！
- 14) スタート「30秒前」のボードが掲示されたら覚悟を決める！
- 15) スターティングシグナルに注目！
シグナルの「赤」が順番に点灯しシグナルによるカウントダウンが始まり、その赤点灯が**消灯（ブラックアウト）**したら一斉にレーススタートです！（事前にF1グランプリのスタートを参考しイメージトレーニング）
なおスタート後セーフティーカーを追い越してはなりません！
- 16) チェッカーフラッグ（終了の合図）まで、ひたすら走り、全力で応援する！！
- 17) チェッカーが振られる約15分前に、ピットロード入口（ピット入口）と出口（コース入口）が**閉鎖**されピットインとピットアウトができなくなります。（要作戦会議）
- 18) カウントダウンとともにフィニッシュラインの液晶掲示板が **6:00.00** でチェックカーフラッグが振られます。
- 19) フィニッシュラインを通過して感動のチェックカーフラッグを！
- 20) ピットロードでフィニッシュ後の自由撮影時間帯（メディアの撮影あり）。
- 21) 1番ピット周辺に貼り出された正式結果を参考し**順位を確認してから**自チームのトロフィーを受け取る。
- 22) 1位～3位と特別賞受賞チームはブリーフィングルームに集合しましょう。
- 23) レーシングカーのデモラン（予定）
- 24) トロフィーを手に満足感に浸りながら帰宅。
- 25) スーパーママチャリグランプリが完結します！
- 26) 数日後、レース結果表がWEBへ掲載されます（ダウンロード可）。



ライダーについての重要事項

- 1) アゴ紐の付いているヘルメット、グローブ（軍手可）、長袖、長ズボン、運動靴の装備厳守となります。転倒に備えてヒザとヒジのパッド装着を強くお勧めします。お子様に関してはパッド装着厳守となります。

負傷した方の大半は、パッドを装着しなかったために怪我を負ってしまっている可能性があります。



- 2) 「工事用ヘルメット」は使用禁止です！

工事用ヘルメットは、側部の衝撃を保護できないため、転倒等において「眼窩底骨折」などの重傷を負う事例が発生しています！絶対に使用しないようお願いいたします。

ヘルメット裏側に「飛来、落下物用」や「電気用」等と表記されている製品は使用をご遠慮ください。

【実際のレースにおいて発生した負傷一例】

実際に起きた負傷の一例です。

パッド未装着など装備不足による負傷が主な原因だと思われます。

スタートからお昼までが事故多発時間帯です。ご注意ください！

受傷場所	時刻	受傷場所	時刻
右手関節左肩	8:25	左示指 右膝 左肘挫傷	10:05
両膝挫傷	8:37	擦過傷	10:12
左肘 手	8:33	両膝擦過傷	10:04
右膝 左肘	8:45	右膝擦過傷	10:26
右肘 大腿部	9:45	すりきず 打撲	11:37
左肩 左肘 打撲	9:55	右膝擦過傷	11:48
頭部打撲 肘挫傷	9:27	下口唇挫創	11:46
右額挫創 右頬部挫創	9:00	下頸擦過傷	12:09

- 3) 自転車専用ヘルメットや工事用ヘルメット等は、転倒時の強い衝撃により側頭部や顔面を保護できない場合があり

ます。実際に転倒して頭部強打や前歯が折れてしまうなどの事例も報告されております！

二輪用、四輪用、スキー＆スノーボード用、アメリカンフットボール用、通学用などの、丈夫で安全な製品を使用してください。「自転車専用ヘルメット」は使用可能ではあるものの推奨いたしません。

※通学用ヘルメットは一見工事用ヘルメットと見分けがつきません。そのためレース中に係員よりヘルメットの確認のために停車を要求される場合があるのでご承知ください。

ヘルメット一例



フルフェイスヘルメット



ジェット型ヘルメット



スキー・スノーボード用ヘルメット



通学用ヘルメット

走行に関する注意事項

- 1) レーシングコースは起伏が激しく非常に過酷なコースレイアウトです。またママチャリでも、それなりのスピードを出すことが可能です。自転車に不慣れな方は、事前に十分な練習を行ってください。
- 2) 走行においての基本理念につきましては、誰もが安全・安心に走れるよう、スピードや技術に差があっても“ゆずり合いの心”を大切にしましょう。
- 3) 走行中に他者と接触したり、走行を妨げてしまった際は「ごめんなさい！」の一言と、助け合いの心を忘れずにお願いいたします。その一言でお互いが気持ちの良いレースになるでしょう。
- 4) 走行中の接触は、周囲の確認不足に起因するケースが多く見られます。常に前後左右の状況を意識し、自分の周囲のどこに車両がいるのかを把握しながら走行することを習慣づけてください。



例：コーナーの進入時には周囲をしっかりと目視で確認し、追い越し時に「左通ります！」「ベルを鳴らす」など軽く声や音で周囲に知らせることも、接触リスクを減らす有効な手段です。

- 5) このレースは、小さいお子様も参加します。お子様を追い越す際は十分な車間と安全を確保し、お子様優先で追い抜きをお願いいたします。
- 6) 転倒等により怪我を負った際は、無理に動かず救援をお待ち下さい。動かすことにより、怪我が悪化する恐れがあります。必要に応じて医務室へ搬送します。医務室の判断により場外の病院へ搬送する場合があります。
- 7) 6歳以下の子供、または必要に応じて保護者の伴走が義務付けられています。お子様が参加する際は十分な事

前練習をお願いいたします。

8) レース中に起こった事故において、その相手に責任を追及したり、損害を要求することはできかねます。たとえ自分に非が無くとも、コース上で発生した事故は全て「50：50」の定義に基づきます。一般公道とサーキットでは根本的に考え方方が違うことを予めご承知ください。また傷害保険などの適用はございませんので、ご希望される場合、各自でご加入ください。

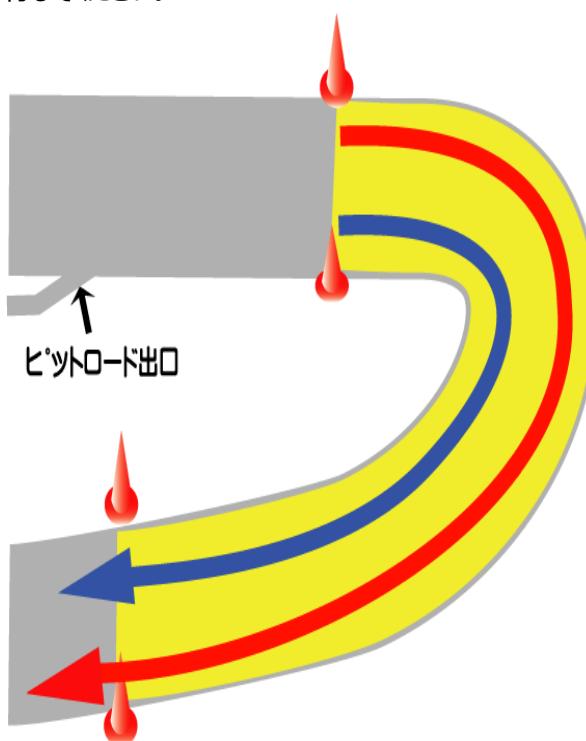
9) **レース中、走行する選手全員は飲酒不可となります。**

飲酒運転はその場で失格といたします。



コース内の危険箇所と「1コーナー特別ルール」

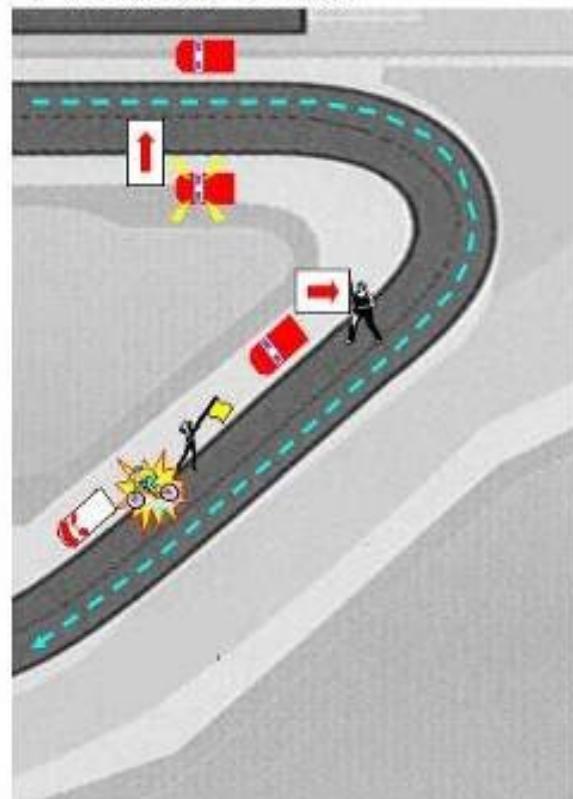
- 1) 転倒事故を減らすためサドルの高さを規定しています。車両規定を参考ください。
- 2) ママチャリで富士スピードウェイを走行することは、例えると「片道四車線の高速道路」を自転車で走っているようなものです。スピード感覚は限りなく麻痺し、スピードが出ていても気付かず「危険速度領域」に達することがあります。コース内では自分の技量に見合った走行を心掛けてください。
- 3) TGRコーナー（第1コーナー）は転倒者が最も多いコーナーであるため大事故が起こりうる可能性もあります。実際に重篤な人身事故も発生しているため、下図黄色区間は低速走行を維持する区間と規定します。また上級者や経験者はコーナー左側（赤線）を走行し、比較的低速走行が予想される初心者やお子様は右側（青線）を行してください。



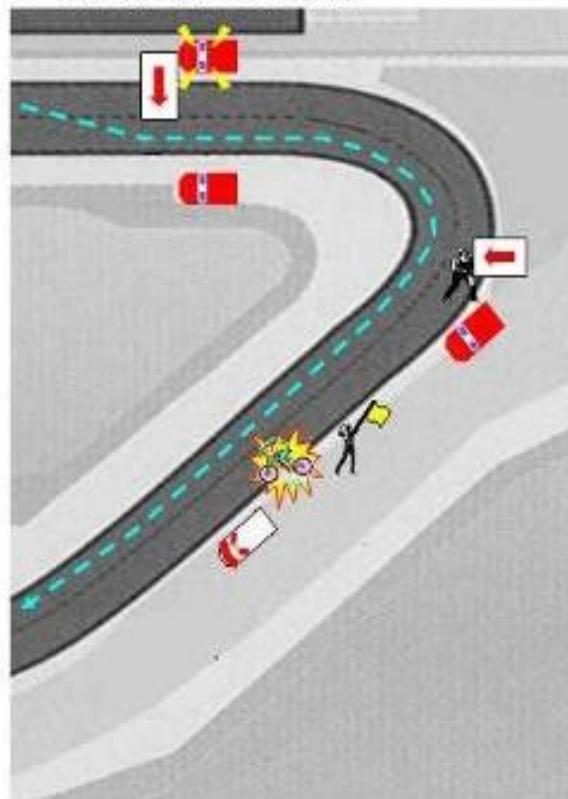
【TGR コーナー（第1コーナー）図】

- 4) TGRコーナー（第1コーナー）における転倒者の大半は「気付かぬうちにスピードが出てしまい、気付いた時はコントロールできずに転倒した！」というケースが大半を占めます。「妙な挙動」を感じたら、ゆっくりブレーキをかけてスピードをコントロールしましょう。また、雨天時においては氷の上を走ったような現象（ハイドロプレーニング現象）が発生した事例も報告されています。TGRコーナー（第1コーナー）にアプローチする際は、十分スピードを落としてから進入してください。
- 5) コーナーリング中に各コーナーの縁石（赤白のペイント部分）には乗り上げしないようご注意ください。縁石はウロコ状の段差になっており、滑りやすく、またリム破損の原因となります。
- 6) TGRコーナー（第1コーナー）での事故や救出作業中は、消火車、救急車、黄旗などを使用し下図のオペレーションを行います。この際はスタッフの案内にご協力ください。下図は救出活動の一例です。

コース右側で発生した場合



コース左側で発生した場合



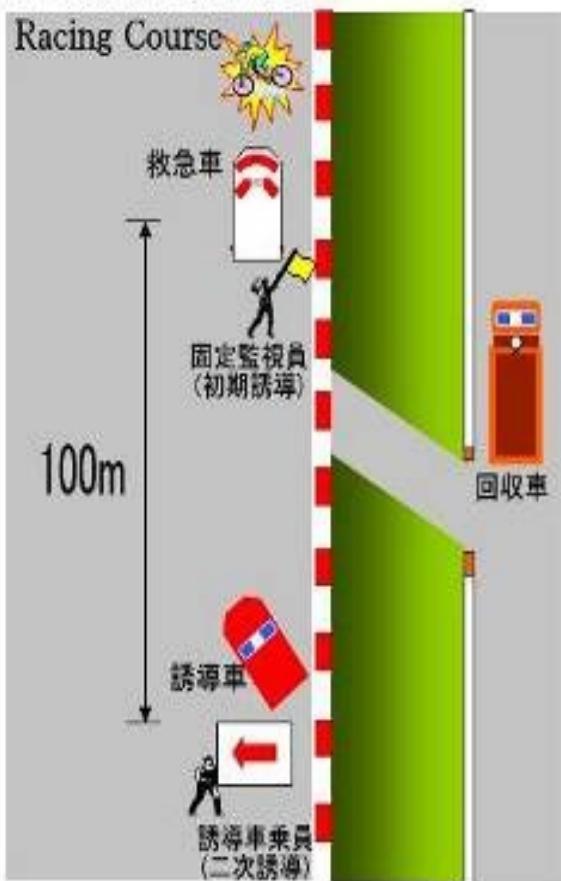
安全確保が困難でない場合

Racing Course



安全確保が困難な場合

Racing Course



施設名称と各所の規制

名称	夜間	火気	日中	火気
ピット2F	仮眠部屋（暖房完備） 飲食不可、宴会不可、夜間消灯	不可	観戦場所（暖房完備） 飲食不可	不可
ピット3F	テント設営可	不可	テント設営可 (雨天時は、ここでトロフィーの受渡しを行う場合があります)	不可
ピット内	テントを持たない方の休憩場所 ※1 暖房器具使用可、但し調理不可	不可 ※1	参加選手の控え場所などの共有スペース ※1 暖房器具使用可、但し調理不可	不可 ※1
ピット裏	テント設営不可 但し雨天時はテント設営可	可	テント設営不可 但し雨天時はテント設営可	可
テントエリア	テント設営可	可	テント設営可	可
ピットレーン	使用不可	不可	ライダー交代場所	不可
グランドスタンド	観戦や応援場所	不可	観戦や応援場所	不可
駐車場	テント設営不可/仮眠や車中泊場所	不可	テント設営不可/駐車場	不可
大会事務局	1番ピット内（迷子/落し物など全般）	不可	1番ピット内（迷子/落し物など全般）	不可

火気の制限と種別

調理に使用 できる器具(火気)	カセットコンロのみ
暖房として 使用できる器具	カセット式ガスヒーター、石油ヒーター、石油ストーブ、電気ヒーター(発電機が必要)

- 締め切ったテント内での暖房器具の使用は一酸化炭素中毒を引き起こす可能性があります。必ず換気を行ってください。
- 発電機を設置する際は、排気ガスが他人に向かないよう設置にご配慮ください。

ピット内のルール

- 1) 暖房設備が無いため**夜間の宿泊はおすすめできません**。夜間は車中泊などご計画ください。
- 2) ピットは昼間と夜間で使用目的が異なります。夜間はテントを持たない方などの控え場所となり、日中は参加選手の控え場所等に使用します。また雨天時においては日中夜間問わず雨宿り場所としても利用しますので使用目的にご協力ください。
- 3) エントリーリストを参照し指定されたピットをご利用ください。
- 4) ピット内での軽食は可能です。ただし周囲に迷惑がかからないようご配慮ください。
- 5) ピット内には 100V のコンセントがございますが、独占して使用しないようご配慮ください。ピット内は参加者みなさまでの**共有使用**となります。先着順ではございませんのでご了承ください。※**使用電気量の使い過ぎ**にはご注意ください。ブレーカが落ちることが多発しています。
- 6) ピット内の「禁止事項」
 - ① **火気の使用**
 - ② **調理**
 - ③ **自転車をピット内に保管**
 - ④ **テーブルの使用(小さなテーブルはOK)**
 - ⑤ **床にテーピング**
 - ⑥ **パーテーションの設置**
 - ⑦ **大量の荷物で場所取り**
 - ⑧ **テントを設置**



テントエリアのルール

みなさまに富士スピードウェイを最大限に楽しんでいただけるよう、パドック内にテントエリアを設定しています。各々のアイディアとスタイルで楽しんでください。



年々テントエリアの規模を拡大してきているチームが見受けられます。テントエリアはみなさまの**共有使用**となりますので、不用意に広く場所を占有したりすることのないようご協力ください。

- 1) テントエリアはみなさまで**共有使用**するため **極力コンパクト**にご利用ください。
- 2) テントエリアに設置したテントには必ず**「管理者」**を配置してください。

【2015年大会での実例】

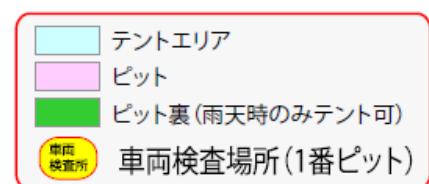
夜間6~7メートルの突風が吹いたため、テントエリアに設置されたテントやブルーシートが飛び交うことがありました。飛来物は全て管理者が不在の物でした。

テント等を設置した場合は放置せず管理徹底をお願いいたします。

3) パドック内テント設置可能エリアは下記の図をご参考ください。



パドック内の通路は全て緊急動線です。
テントで通路を塞がないよう注意ください。



4) 火気を使用するチームは消火器ご持参ください。.

5) レース出場者は走行の8時間前は飲酒不可となります。

6) 夜間は氷点下に達します。テントエリアで宿泊する方は十分な防寒/防雨/防風に備えてください。装備が不十分な場合は車の中で過ごすなどの計画を立ててください。

7) ブミは「全てお持ち帰りください。」

8)パドック内は全面アスファルトです。テントのペグやアンカーはご利用いただけません。

9) 調理の基本ルール



- ① 己の火は己で管理！
② 消火器を持参！
③ 強風時は火を消す！
④ 天ぷらなど、油を大量に使用する調理は禁止！

これはピット裏の写真です。
黄色い部分は緊急動線となります。
荷物を置いたりテントを張ったりしないようお願いします！



ピットビル2階のクリスタルルーム（休憩所）について

- 1) ご利用者のみなさま同士譲り合いの心でご使用ください。
- 2) 管理者不在の場所取りはご遠慮ください。
- 3) 使用可能な面積は1人につき寝袋1つ分相当となります。
- 4) 室内は暖房を完備しておりますが宿泊の際は寝袋等をご持参いただき、温かくしご就寝ください。
- 5) 参加者全員が入室できるスペースはございませんので予めご了承ください。
- 6) ピットビル3階の屋上は屋根の付いたスペースです。休憩や観戦場所としてご利用いただけます。
- 7) 夜間のクリスタルルームは仮眠所として開放している22時前後で消灯いたします。（消灯後はお静かに）
- 8) 飲食や喫煙はご遠慮ください。

ピットロード周辺について

- 1) ピットロードはいつでも停止できる安全な速度での走行をお願いいたします。
- 2) 交代エリアは「交代時のみ」入ることができます。**交代する車両が目の前で止まるまで、エリアへは入らないでください。**
- 3) 交代エリアで修理作業などは行わないでください。



- 4) ピットロードとコースを隔てる「ピットウォール（写真参照）」の金網には**絶対によじ登らないでください！**状況によっては**ピットクルーの危険行為とみなし**レースが一時中断してしまうことがあります。もし登っている方を見かけたらスタッフにお知らせください。



車両規定(子供用車両の規定含む)

- 1) 車両は整備が完了し安全に走行できる状態であることをご確認ください。
- 2) カゴに認識可能なゼッケンを取り付けください。ゼッケンのサイズ・形に規定はありません。ゼッケンを取り付けていない車両は競技に参加いただけません。
(写真 : ゼッケン取り付け例)



- 3) サドルの高さは一番低い位置に固定してください。もしステムが長くて下まで下がらない場合は短い物に交換するか、切断するなど適切な位置に下げてください。適切な位置に下がらない車両は使用できません。

【重要】

このルールは、可能な限り転倒事故を減らすために規定したものです。規定を厳守いただけますようお願いいたします。
実際このルール改定後に転倒事故が30%以上減っています。



フレームとサドルが一番下の位置にあること！



フレームとサドルに隙間がある場合は使用不可！



下がらない場合は切断して下げる！

4) ハンドルの高さは95センチ以上で固定してください。

5) スペア(予備)車両を使用する際のルール

各チームにメインマシン1台+スペアマシン1台=合計2台まで使用可能です。なおスペアマシンの定義は、メインの車両が壊れて「走行不能」になった場合に使用できる車両を意味します。ただしHVクラスはスペア車両を使用できません。

6) 子供専用自転車を使用する際のルール

身長が低いなど、**身体的理由**によりメインのママチャリを安全に運転できない“小さなお子様”に対し救済処置として、子供専用自転車(補助輪使用不可)が使用可能です。その際は体格に見合ったご自分の自転車をお使いください。また小さなお子様が走行する際は、安全を確保するため伴走するようお願いいたします。



(写真：子供用自転車との伴走の例)

7) 以下3種の自転車は、使用可否の問い合わせが多く寄せられている自転車一例です。

メーカー名	機種名	可否
ブリヂストン	マーコローザ	3Sと7Sは使用可
ルイガノ	TR-2	 このフレームのTR-2は 使用不可
ルイガノ	TR-2	 このフレームのTR-2は 使用可
その他	フレームの形が ひし形 の車両はスポーツ性を備えているため使用できません。	

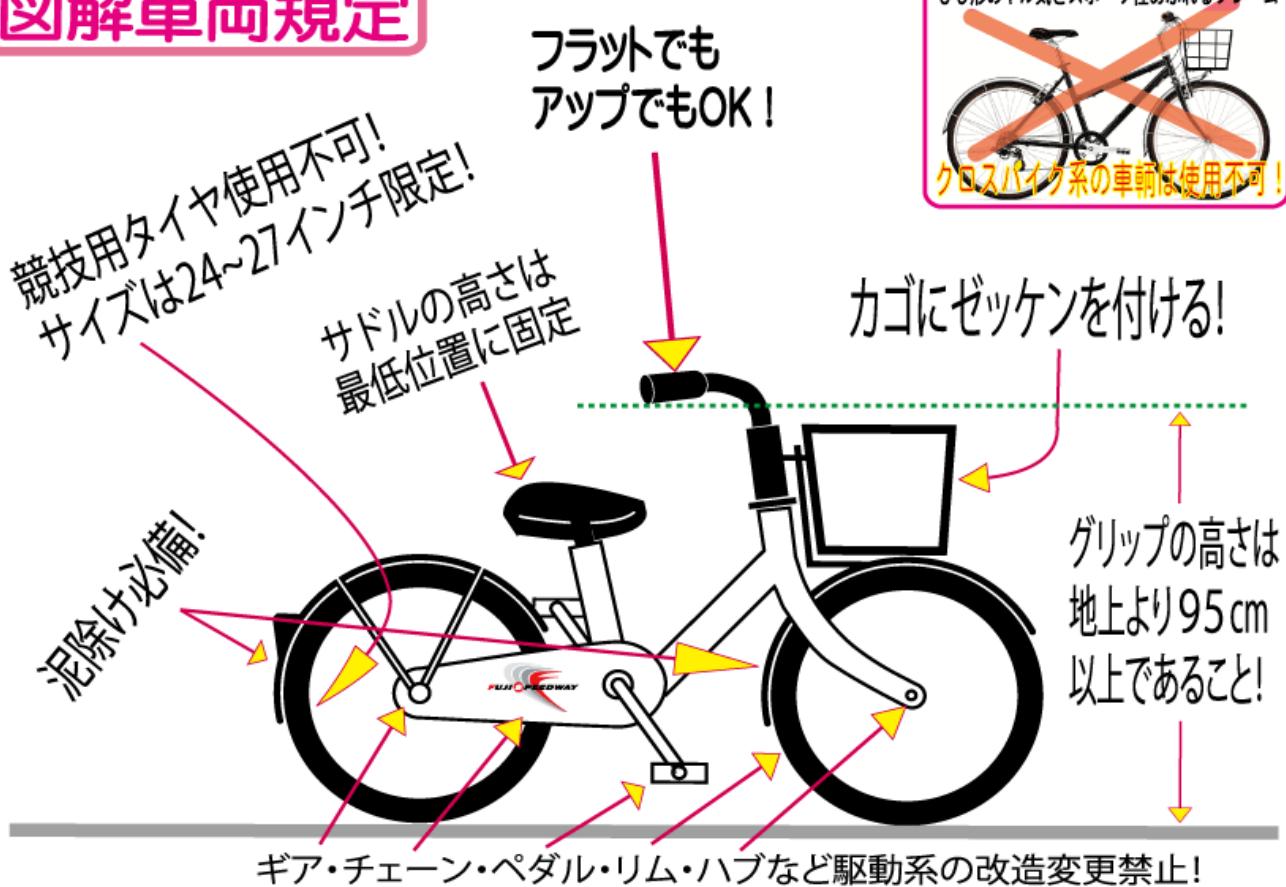
8) ハイブリッドクラス(HV)の使用可能機種

ハイブリッドクラスの規定	
国家公安委員会が認定する2輪または3輪の「 型式認定 」を所得している車両に限ります。それ以外の電動自転車は使用できません。 また、型式認定を所得していても製造メーカーが スポーツモデル として販売している車種も使用できません。 以下の表は主たるメーカーが販売しているスポーツモデルの一例となります。	
ヤマハ	YPJシリーズ、PAS Braceなど
パナソニック	VMIシリーズ、XU、ジェッター、ハリヤ、ベロスターなど
ブリヂストン	ティービーワン、リアルストリームシリーズなど

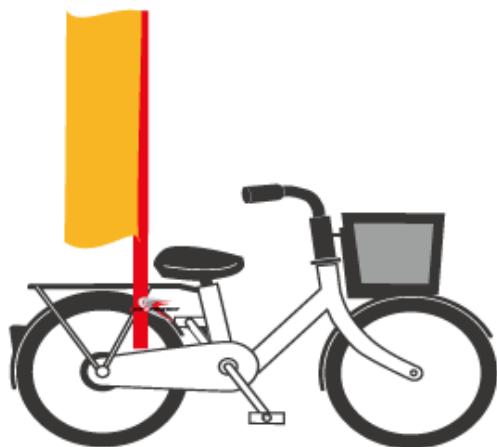
9) 基本車両規定一覧表

基本規定一覧	
1)	ママチャリの 気品 と 勇姿 が保たれていること！
2)	一般市販の 無改造車 であること！ハンドメイド車両などは使用不可
3)	車両にお金をかけることは許されない！但し 装飾にお金を掛けることは許される ！
4)	ギアは、無段変速または 8段変速以下 であること！
5)	フレーム形状は、ひし形でない「ママチャリスタイル」であること！
6)	サスペンション付きは使用不可！
7)	ハンドルの高さは 95センチ以上 であること(図解車両規定参照)
8)	車輪は 24~27インチ であり、尚且つ車輪にカバーを取り付けてはならない！
9)	ギア・チェーン・ペダル・リム・ハブなど駆動系の加工や変更は不可！
10)	タイヤ、チューブ、エアバルブは交換変更可。但しタイヤは公道用オールウェザータイヤを使用し、競技用タイヤは使用禁止！
11)	カゴの正面に雨風に耐えうるゼッケン番号を付ける！
12)	ハイブリッドクラス対象：バッテリーは無改造のメーカー純正品のみ使用可。使用できる個数は1つ
13)	ハイブリッドクラス対象：バッテリーは車両検査で封印します。その後は、 充電・交換・取り外し禁止 となります！

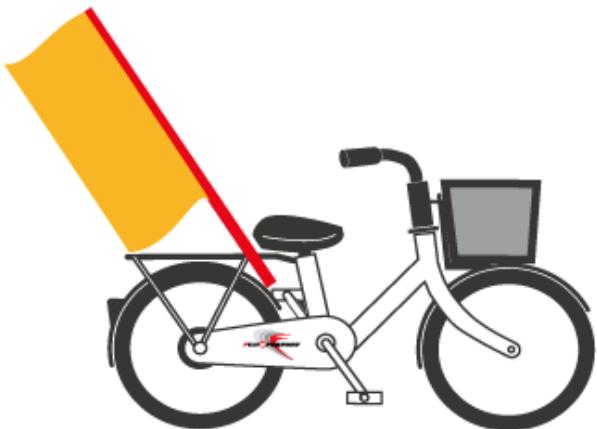
図解車両規定



【車両に「のぼり」等を装着する際のルール】



のぼりを垂直に立てていればOK!

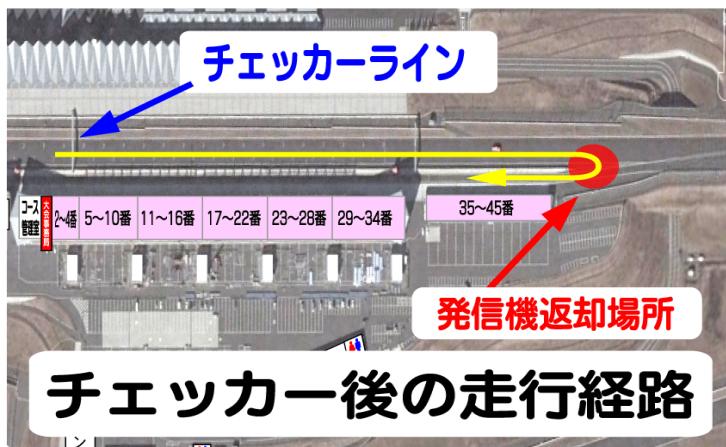


禁止する装着方法
後方の選手に旗が接触する危険性あり!

のぼりなどの装着に関しては、周りの方への細心の注意とご配慮をお願いいたします。

計測と計測装置について

- 1) 計測機は受付で配布いたします。**装着場所が極めて重要です**。必ず説明書に従った方法で装着してください。
- 2) 走行中に計測機を紛失した場合は大会事務局で計測機を購入し走行を続けてください。
- 3) 経過時間はコース上の液晶掲示板に常時表示されています。
- 4) チェッカーが振られる約15分前に、ピットロード「入口」と「出口」が閉鎖されコースから進入はできません。チェッカー間際のピットインやコースインは経過時刻を確認しながら作戦を練ってください。
- 5) チェッカーフラグを受けた後、ピットエンド（下図参照）で発信機を返却し、ピットロードを逆走し自ピットに戻ります。逆走せずそのままもう1周してチェッカーラインを通過するとダブルチェッカーとなり失格になる場合があります。



- 6) 計測終了時刻は最後尾の状況にもよりますが、おおよそ6時間15分を経過した時点で計測が終了し、順位が確定します。それ以降にフィニッシュラインを通過しても結果表に反映されない場合があります。
- 7) 同着の場合は、予選順位を優先し最終順位が確定します。

計測タグ装備方法（タグの返却は不要です）

今回の計測では、自転車に2種類の計測タグを取り付けて計測を行います。



- ① メインタグを、自転車のフレームに巻き付けます。
- ② サブタグを、自転車のフレームの下部に貼り付けます。
- ③ 養生テープで取れないように補強します。

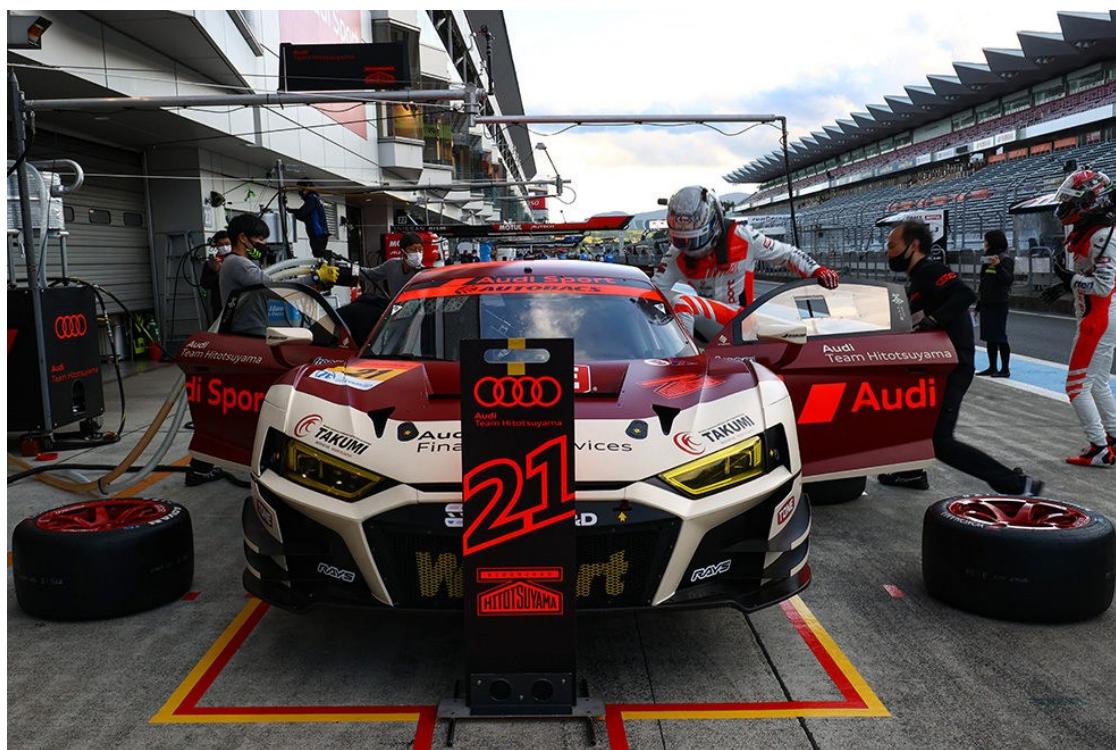
大会特別ルール

- 1) ルールを遵守する余裕な心構えで1日を過ごすこと！
- 2) 1度スタートしたら最後まであきらめないこと！
- 3) 雨が降ろうと、濃霧に包まれようと、富士山の寒風に吹き飛ばされようと、降雪で大会中止に追い込まれそうになると、皆と笑顔で走り仲良く交流を深め完走を目指すこと！
- 4) 転倒や困っている方を見かけたら助け合うこと！



GTカー デモラン時における重要厳守事項

- 1) レーシングカーの迫力を味わっていただくために、車両はみなさまの立っている目の前を通過いたします。レースでも関係者のみが見られる特別な環境でご覧いただけます。見学の際はピットウォールから顔や手を出さないでください。**石やタイヤかすが飛び散り、負傷する場合がございます。**
- 2) 爆音で走行します。小さなお子様をお連れの際は必ず**手を繋ぎ、耳栓**を使用してください。



※写真は一例



モータースポーツライセンス所有者や公式レース参加経験者の皆様へのお願い。

スーパーママチャリグランプリの参加のみなさまは、普段サーキットに来場されることのない方が大半を占めるため、施設内においてのルールやマナーを十分に理解しておりません。

コース内・ピットロード・ピット・パドックなどにおいて「ルールを理解していない方」や「困っている方」などがいらっしゃった場合、ご指導の程ご協力をお願いいたします。経験者であるみなさまが手本になると、初心者にとって安全で楽しいレースの思い出になり、また今後の安全継承に繋がって行くことと思います。

これまで毎年ルール改訂を繰り返し、徐々に転倒や接触事故が減るとともに、場内のマナーも徐々に良くなっています。

これからも引き続き安全で楽しいレースを行えるようみなさまのご協力をお願いいたします。

富士スピードウェイママチャリGP実行委員会